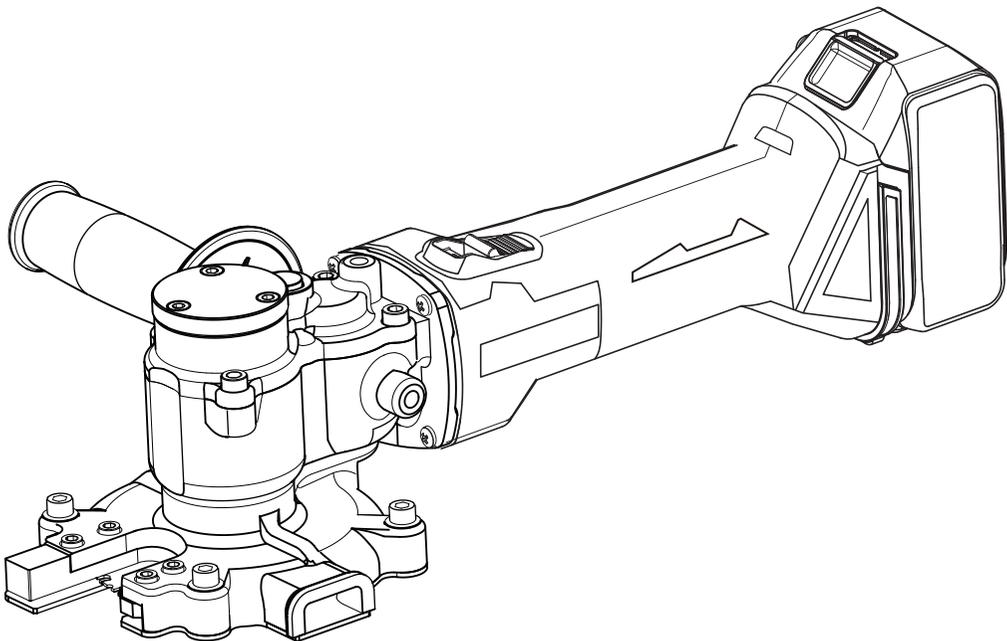




充電式チップソーカッタ

モデル **SC250D**

取扱説明書



弊社製品を安全にご使用いただくために、取り付けおよび操作の前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、必要なときに参照できるようお手元に大切に保管してください。

目次

| | |
|-------------------|----|
| 仕様 | 2 |
| 安全上のご注意 | 3 |
| チップソーの安全上のご注意 | 7 |
| 各部の名称 | 8 |
| バッテリーの充電について | 9 |
| 操作方法 | 12 |
| チップソーの取り付け・取りはずし方 | 15 |
| 保守・点検について | 16 |

仕様

| | | |
|--------------------|--|---------------------------|
| 型式 | SC250D | |
| モータ | 直流ブラシレスモータ | |
| バッテリー | 型式 | BL1860B (リチウムイオン電池) 6.0Ah |
| | 充電時間 | 約55分 |
| | 電圧 | 直流 18V |
| 充電器 | 型式 | DC18RC (充電器) |
| | 入力電圧 | 単相交交流100V 50/60Hz |
| | 入力容量 | 410VA |
| | 出力電圧 | 直流7.2-18V |
| | 出力電流 | 直流9A |
| 質量 | 4.0 kg | |
| 本体外形寸法 (L×W×H) | 471×137×139 mm (ハンドルを含まない) | |
| 切断能力 | SD490異形鉄筋 620N/mm ² (63kg/mm ²) | D10~D25 |
| | SR295丸鋼 440N/mm ² (45kg/mm ²) | φ10~φ25 |
| 回転数(回転/分) | 2200min ⁻¹ | |
| チップソー寸法 (外径×厚さ) | φ110×t1.5mm | |
| 標準付属品 | 充電器 DC18RC バッテリー BL1860B 六角棒レンチ (5) チップソー(本体セット) ハンドル ダストケース 商品ケース | |

安全上のご注意

注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取扱いに関する重要なご注意。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 充電器とバッテリーは取扱説明書に記載されている組み合わせで使用してください。
 - 指定以外の組み合わせでは、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
- 正しく充電してください。
 - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発動機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が10℃未満、または温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- バッテリーの端子間を短絡させないでください。
 - 釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 感電に注意してください。
 - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
 - 頭部保護のためヘルメットを着用してください。
- 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマスクなどの防音保護具を着用してください。
- 加工するものをしっかり固定してください。
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



警告

10. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物・ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。（本体が作動して、けがの恐れがあります。）
11. 不意な始動は避けてください。
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動して、けがの恐れがあります。
12. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
13. バッテリーを火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
14. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ・失明の恐れがあります。
15. 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。
 - ・バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。



注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、電動工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
 - ・充電工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は事故の恐れがあります。
 - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
5. 作業にあった電動工具を使用してください。
 - ・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
7. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理

注 意

な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

8. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。

9. 充電工具は注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物を使用すると、けがの恐れがあります。

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。

- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には、交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

10. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの恐れがあります。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業して

ください。軽率な行動をすると、事故やけがの恐れがあります。

- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの恐れがあります。

- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

13. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。

- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

- 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

- スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

14. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は本体、充電器、バッテリーを分解したり、修理、改造は行わないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。

- 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。

- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。

- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式チップソーカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中は本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持しないと、けがの原因になります。
2. 回転中のチップソーおよびその周辺に手、顔、足などを絶対に近づけないでください。
 - ・重大な事故の原因になります。
3. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になったり機械の故障の原因になったりします。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になったり機械の故障の原因になったりします。
5. バッテリーは、発煙、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・端子に金属類を接触させないでください。
 - ・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
 - ・雨や水にぬらさないでください。
 - ・コードを切断しないでください。
6. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤等のある場所では充電しないでください。
 - ・爆発や火災の恐れがあります。
7. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
 - ・紙ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
8. 充電器には充電端子があります。金属片、水などの異物を入れないでください。
9. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
10. チップソーに欠け、ひび、割れがないことを確認してから使用してください。
11. 水、切削液などは使用しないでください。
12. 純正のチップソー以外での切断作業はしないでください。
13. 機械を作動させたまま床などに放置しないでください。
14. 切削粉は火花となって飛散する場合がありますので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、切削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
15. コンクリートは切断しないでください。

⚠ 注意

1. 付属品は取扱説明書に従って確実に取りつけてください。
 - ・確実にでないとはずれたりして、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・本体などを落としたとき、重大な事故の原因となります。
3. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
4. 火気に近づけないでください。

注

1. 吸込口や排気口をふさがないでください。モーター焼損の原因になります。
2. 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

| コードの太さ（導体公称断面積） | コードの最大長さ |
|---------------------|----------|
| 0.75mm ² | 20m |
| 1.25mm ² | 30m |

延長コードは被ふくを施したコードを使用してください。

チップソーの安全上のご注意

作業環境

- ① チップソーカバーを必ず正しく取り付けてください。
刃物が破損したとき、飛散した破片が当たり大けがの原因になります。
- ② 作業の周囲状況を考慮してください。作業者以外は、近づけないようにしてください。
チップソーが破損あるいは切り粉等の破片が飛散したとき、チップソーカバーがあっても破片が飛び出すこともあり、けがの原因となる恐れがあります。
- ③ 使用中に火花を発生することがあります。引火や爆発の恐れがあるところでは使用しないで下さい。
- ④ 使用中に騒音が発生します。周囲のご迷惑にならないようご注意ください。

服装・保護具

- ⑤ 作業者は、保護具（保護メガネ・安全靴・防塵マスク・保護帽等）を必ず着用してください。チップソーが破損あるいは切り粉等の破片が飛散したとき、チップソーカバーがあっても破片が当たり、けがの原因となる恐れがあります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。また、長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

使用前

- ⑦ チップソーに曲がり、ひび割れ、欠け、摩耗などの異常がないことを確認してください。これらの異常を発見した場合は絶対使用しないでください。
- ⑧ 指定された用途以外に使用しないでください。チップソーに合わない対象物を切断すると刃先の異常摩耗、脱落、切れ味不良、異常過熱が発生します。無理に使用するとチップソーが破損し、大けがの恐れがあります。

取り付け

- ⑨ チップソーの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。チップソーが作動して、重大な事故の原因になります。
- ⑩ 必ず周囲に人がいないことを確認し試運転を行ない、異常音や異常振動がないことを確認してください。異常音、異常振動のまま使用しますと、チップソーが破損し大けがの恐れがあります。

使用中

- ⑪ 切断以外の用途に使用しないでください。無理な力または衝撃を与えないでください。
チップソーが破損し飛散した破片で大けがの恐れがあります。
- ⑫ 切断材は、完全に固定してください。切断中にガタやブレがあると作業が不安定になり、チップソーが破損したり、異常な食い込みを起こしたりして、大けがの恐れがあります。
- ⑬ 機械本体のスイッチをONにする前に、チップソーが切断材に接触していないことを確認してください。接触している場合は、チップソーの破損や本機の故障の原因となる恐れがあります。
- ⑭ ジグザグ切断・曲線切り・斜め切り・コジリ・側面使用は、絶対にしないでください。チップソーが破損し、飛散した破片で大けがの恐れがあります。
- ⑮ 使用中に異常音・異常振動・切断面の異常な荒れ等が生じたときは直ちに作業を中止してください。そのまま使用するとチップソーが破損し飛散した破片で大けがの恐れがあります。
- ⑯ 連続切断は、チップソーが高温になり切れ味の低下を早めますのでご注意ください。

点検と保守

- ⑪ チップソーのフランジに曲がり・ひび割れや破損、またその他の異常の疑いがあれば使用しないでください。
そのまま使用するとチップソーが破損し飛散した破片で大けがの恐れがあります。
- ⑫ 常によく切れる状態で使用してください。能力を超えた切断は機械本体やチップソーの負担となり故障や事故の原因になります。

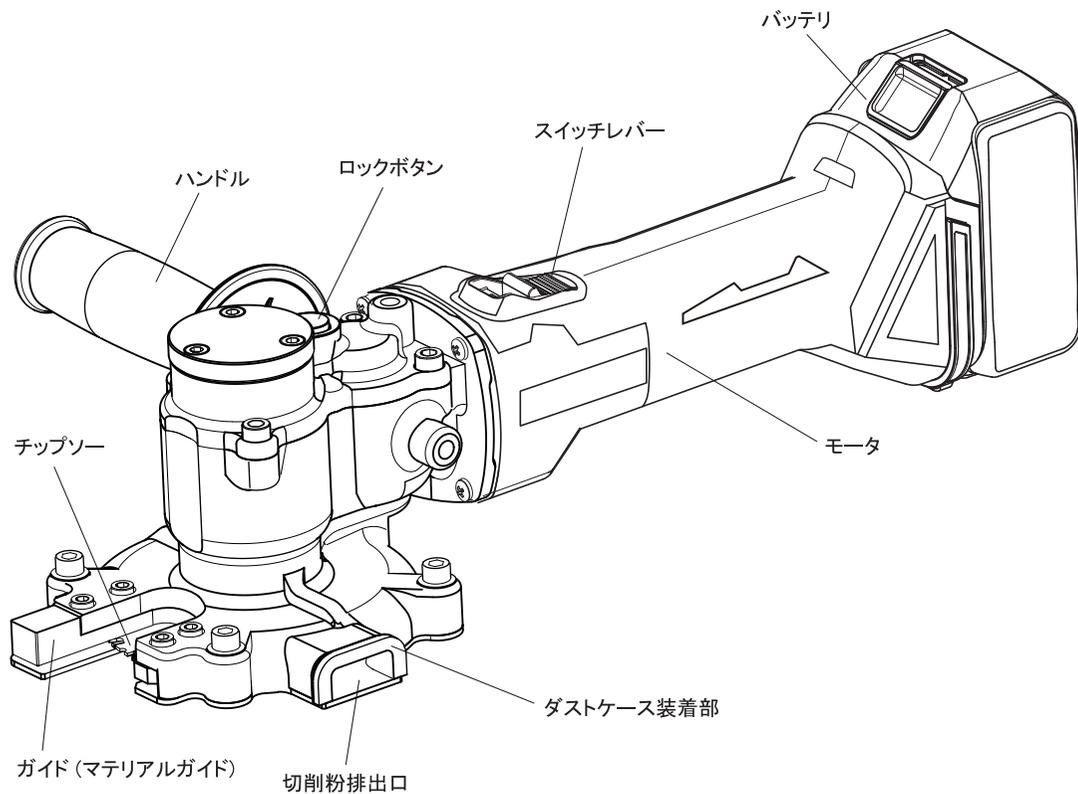
保護具（保護メガネ等）を必ず着用してください。

警 告

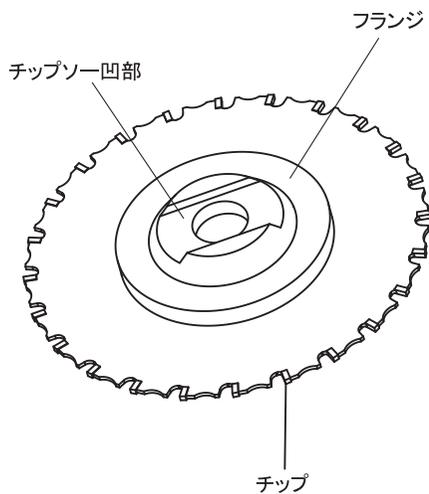
マキタ純正鉄筋切断用チップソー以外のチップソーは絶対に使用しないで下さい。
部品の損傷や機械の故障の原因となり、重大な事故が発生する恐れがあります。

各部の名称

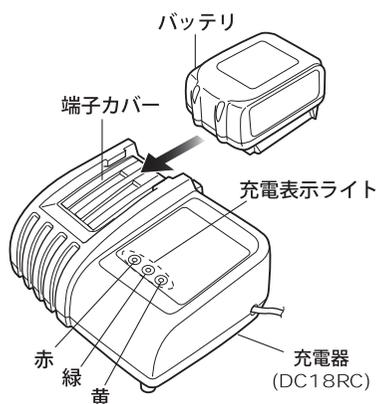
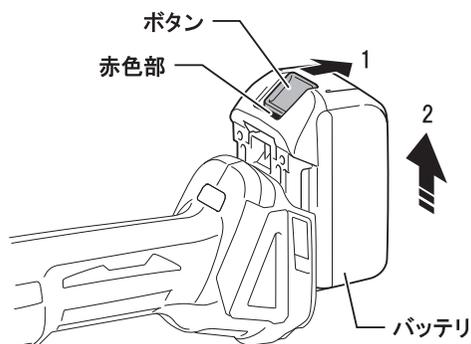
■SC250D 本体



■チップソー



バッテリーの充電について



※ご使用前にバッテリーを充電器で充電してください。

1. バッテリーを取り外すときは、バッテリー正面のボタンを下げながらバッテリーをスライドさせると取り外せます。このときにバッテリーをしっかり保持して取り外してください。
2. 充電器のプラグを100Vの電源に差しこんでください。充電表示ライトが「緑」の点滅を繰り返します。
3. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリーの挿入に伴い開閉します。充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。
4. 充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディや電子ブザー音が鳴ります。そのままバッテリーを挿入しておけば、バッテリーを冷却しながらトリクル充電を24時間行います。

注) 充電時間は周囲温度やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。

5. 充電が完了したら、バッテリー正面のボタンを上げながらバッテリーをスライドさせると取り外せます。
6. 充電器のプラグを電源から抜いてください。
7. バッテリーを機械に取り付ける場合は、バッテリー正面のボタンを下げながらバッテリーをスライドさせて奥まで挿入してください。

注) ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

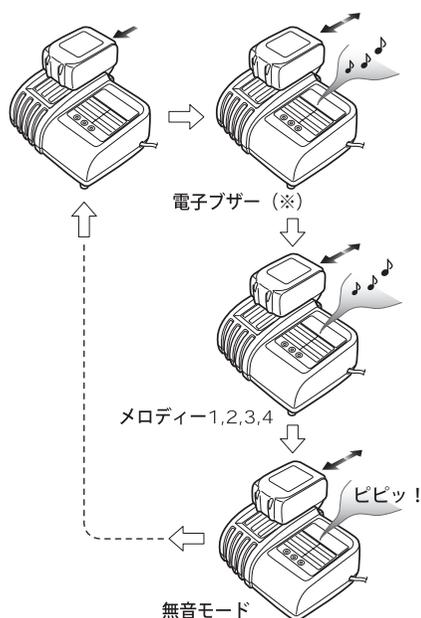
注

- DC18RCはバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
 - 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。
このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
 - 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約20秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
 - バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
 - オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
 - 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い求めの販売店または弊社営業所へお持ちください。
- ※充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
※バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
※充電開始後、表示ライトが「赤」に点滅した後、1時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

充電表示ライトについて (DC18RC)

| ライト表示 | 表示内容 |
|-------|--|
| | 充電前「緑1個」点滅 *電源に差し込んだ状態です。 |
| | 冷却中「赤1個」点滅 *バッテリーが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。 |
| | 充電中「赤1個」点灯 *バッテリー容量0~80%を示します。 |
| | 充電中「赤1個・緑1個」点灯 *バッテリー容量80~100%を示します。 |
| | 充電完了「緑1個」点灯 電子ブザーまたはメロディー *充電完了後もバッテリーを冷却しながら、トリクル充電を行い自然放電を防ぎます。 |
| | 充電不可「赤・緑1個」交互点滅 電子ブザー *バッテリー寿命またはゴミつまりで充電できません。 |
| | オートメンテナンス「黄」点灯 *バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。 |
| | 冷却システム異常「黄」点滅 *冷却ファン故障または冷却不足です。 |

充電完了メロディーの切り替え方法 (DC18RC)



1. バッテリーを充電器に差し込むと、現在設定 (※) されている充電完了メロディーが短時間流れます。
 2. この時、約5秒以内にバッテリーを差し直すと充電完了メロディーが変わります。
 3. 続けて約5秒以内にバッテリーを差し直すたびに充電完了メロディーが順に変わります。
 4. 設定したい充電完了メロディーが流れましたら、バッテリーを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません (無音モード)
 5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリー挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
 6. 設定した充電完了メロディーは充電器のプラグを抜いても記憶されています。
- ※ 出荷時は電子ブザーに設定されています。

トリクル充電について (DC18RC)

- 充電完了後にバッテリーの自然放電を防ぐため、バッテリーを差し込んでおけば微小電流を24時間流し続けて満充電の状態を維持します。
- 充電完了後すぐに使用しない場合は、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。DC18RCはバッテリーの冷却も行います。

冷却システムについて (DC18RC)

- バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリーのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなることがあります。このような時は、充電器、バッテリーの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に「黄」のライトが点滅するようときは、点検・修理をお申し付けください。

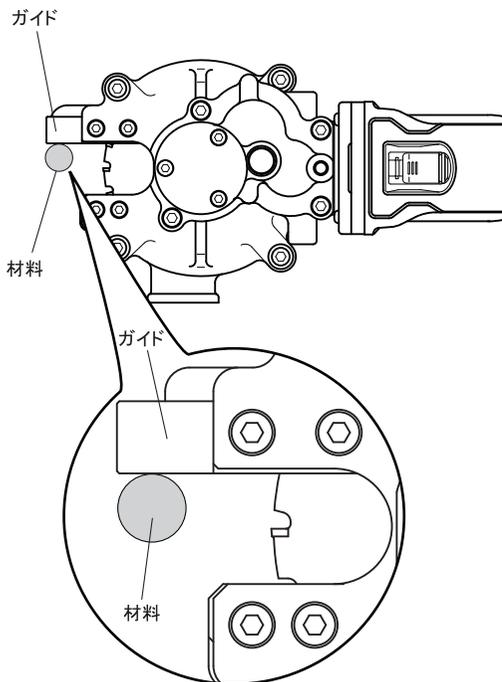
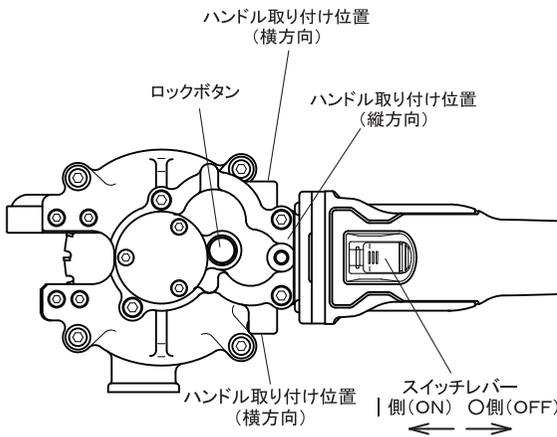
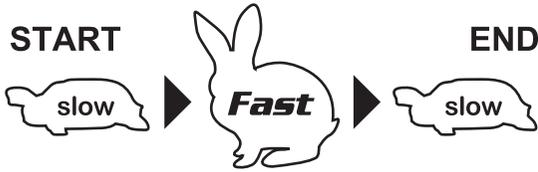
オートメンテナンスについて (DC18RC)

- オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- 下記1～4の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなる場合があります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し
(過放電とは機械の力が弱くなってさらにも使用する状態です)

バッテリーを長持ちさせるには (DC18RC)

- 機械の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電して下さい。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。

操作方法



切断の際は、※「カメ・ウサギ・カメ」切りをお願いします。

※「カメ・ウサギ・カメ」切りとは、切断の始めと終わりはゆっくりと切断し、それ以外は、刃物の自然な動きに沿って、すばやく切断する方法のことです。これにより、刃物のみならず機械本体の延命にもつながりますので、とても経済的です。

警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチレバーが「○」側（OFFの状態）になっていることを必ず確認してください。

注意

1. ロックボタンを押して離れたときに、元の位置へ戻ることを必ず確認してください。
・戻らないままの状態で作成した場合は、モーターの燃損や各部品の破損につながります。
2. スイッチレバーを「|」側にスライドさせて、その状態のまま固定されることを確認してください。スイッチレバー後部を押して「○」側にスライドすることを確認してください。
3. チップソーカバー取付ボルトおよび各ボルトが、しっかりと締まっていることを確認してください。

1. ハンドルを作業がしやすい位置（横方向、縦方向）に取り付けてください。
2. バッテリーを装着する前に、スイッチレバーが「○」側になっていることを必ず確認してください。

注意

本機は安全のため、スイッチレバーの位置を「|」の状態でもバッテリーを差し込んでも、モーターが作動しない構造になっていますが、危険防止のためにスイッチレバーの位置は必ず「○」側にした状態でバッテリーを装着してください。

3. バッテリーを本機に差し込んでください。
4. スイッチレバーを「|」側にスライドさせてください。モーターがONの状態になり、その状態からスイッチレバーの前部を押すと固定されて、連続運転状態になります。

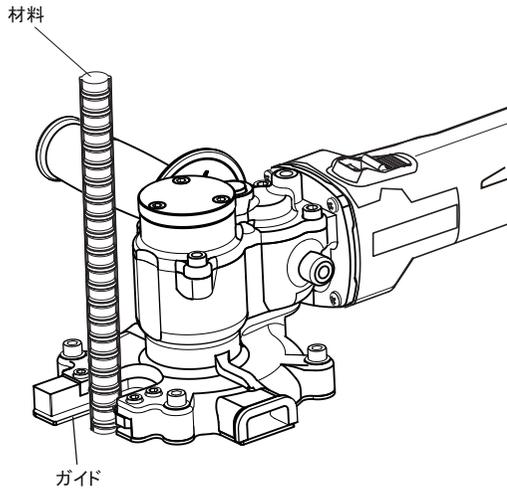
警告

回転部には絶対に触れないでください。重大な事故の原因になります。

5. 本機の切断材挿入部のガイドに材料の外径を当てながら、本機を切断する方向にゆっくりと送ってください。（左図参照）

⚠ 注意

1. 切断材挿入部のガイドに材料の外径を当てないで切断すると、切断の開始時に本機が不意に動いて、チップソーの破損の原因になります。
2. 材料を切断する際に、切断の開始付近と終了付近は、本機の送りをゆっくりと操作してください。送りが速い場合は、チップソーの破損につながったり、飛散した切断片でけがをしたりする恐れがあります。



⚠ 注意

1. 本機をしっかりと持ち、本機がぶれないようにして材料を切断してください。ぶれながら切断した場合は、チップソーの消耗が早くなり破損の原因となる恐れがあります。
2. 切断する材料に対して本機が垂直になるようにセットしてください。
 - ・斜めの状態で切断すると、過負荷になったりぶれながら切断されたりするため、故障の原因となる恐れがあります。
3. スイッチレバーの操作直後に、材料にチップソーを押し当てないでください。チップソーの回転が上がってからゆっくりと材料に押し当てて切断してください。
4. モーターが作動している状態でバッテリーを取りはずさないでください。内部の電子機器が故障する可能性があります。
6. 切断完了後、スイッチレバー後部を押して「○」側にスライドさせてモーターをOFFの状態にしてください。

⚠ 注意

鉄筋および丸鋼以外の材料を切断する場合は、お買い求めの販売店または弊社支店、営業所にお問い合わせください。切断する材料によっては、チップソーの欠けや破損および本機の故障の原因となる恐れがあります。

切断時の注意点

1. スイッチをONにする前に、チップソーが切断材に接触していないことを確認してください。接触している場合は、チップソーの破損や本機の故障の原因となる恐れがあります。
2. 切断の始めと終わりの送りを必ずゆっくりと操作してください。切断された切断片がチップソーのチップに当たり、チップを破損させる原因になります。
3. 切れ味が悪くなったり、先端のチップが破損したりした場合は、速やかにチップソーを交換してください。切断時の過負荷の原因になります。また、過負荷の状態で切断を続けると、モーターの燃損の原因になります。
4. 切断する材料が動いたり、ぐらついたりする場合は、材料をしっかりと固定してから切断してください。
5. 切断片になる箇所の材料を手で保持しないでください。けがの原因となる恐れがあります。
6. 仕様のページの切断能力以上の材料を切断しないでください。
7. 予備のバッテリーを使用して連続作業をされる場合は、本機を15分以上休止させてください。

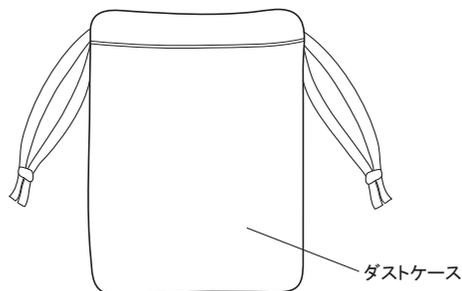
チップソーの交換時期

1. チップソーの先端チップが破損または摩耗した場合。
2. 1回毎の切断時間が非常に長くなった場合。
3. 切断された材料の切断面が熱で変色している場合。

注

使用済みのチップソーを、再研磨して使用する事は出来ません。

ダストケースの取り付け方法



1. 本機のダストケース装着部の大きさに合うように、あらかじめダストケースの入り口付近にある両端のひもを引っ張り、ダストケースの入り口を縮めておきます。
2. ダストケースを本機に装着してください。
3. 両端のひもをしっかりと引っ張り、ダストケースの入り口とダストケース装着部がしっかりと密着しているのを確認してください。
4. 両端のひもを巻き付けて、しっかりと縛ってください。
5. ダストケースを引っ張り、抜けないことを確認してください。

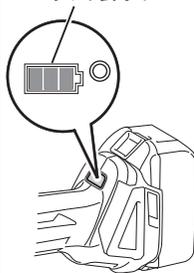
⚠ 注意

切れ味が悪くなったチップソーを使用すると、切削粉が高熱の状態になる場合があります。切削粉が高熱の状態のままダストケースに入った場合は、難燃性の素材を使用しているダストケースが溶ける可能性があります。溶けて出来た穴から切削粉が落ちて火傷する恐れがありますので、十分注意してください。

各種機能

| バッテリー表示ランプ | バッテリー残容量 |
|----------------|------------|
| ■:点灯 □:消灯 ○:点滅 | |
| | 50% - 100% |
| | 20% - 50% |
| | 0% - 20% |
| | バッテリーの交換 |

バッテリー表示ランプ



バッテリー残容量表示機能

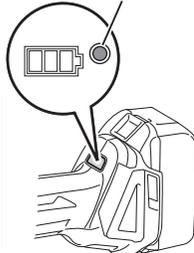
- ・スライドスイッチを「1」（ON）側にするとバッテリー表示ランプがバッテリーの残容量を表示します。

自動モード切替機能

- ・本機には、動作モードに「ハイスピードモード」と「高トルクモード」があります。作業時の負荷に応じて自動的にモードが変わります。モードランプが点灯している場合は、「高トルクモード」になっています。

| モードランプ | 動作モード |
|--------|-----------|
| | ハイスピードモード |
| | 高トルクモード |

モードランプ



本機・バッテリー保護機能

- ・本機およびバッテリーの寿命を延ばすために、自動停止する機能です。
- ・作業時に、本機またはバッテリーが下記の状態になると自動停止します。状況によっては、バッテリー表示ランプが点灯します。

過負荷保護機能

- ・作業時に異常な負荷を感知すると、本機は自動停止します。スライドスイッチを「0」（OFF）側にし、過負荷の要因を取り除いた後、再度スライドスイッチを「1」（ON）側にしてください。

注

- ・過負荷の作業を連続して行なって自動停止したときは、スライドスイッチを操作しても再始動しない場合があります。その際は、バッテリーの交換を知らせるランプが表示されます。バッテリーをはずして充電してから本機に取り付け、スイッチを入れてください。

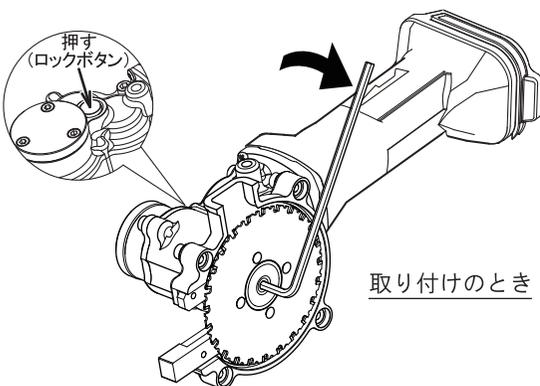
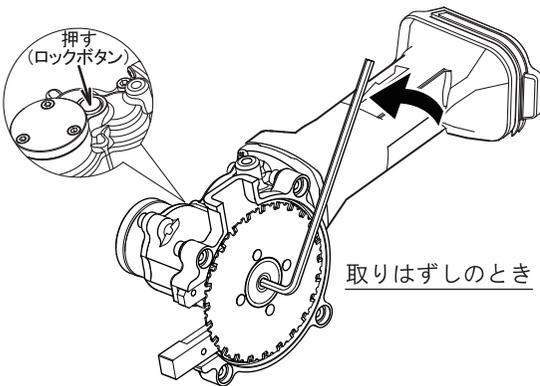
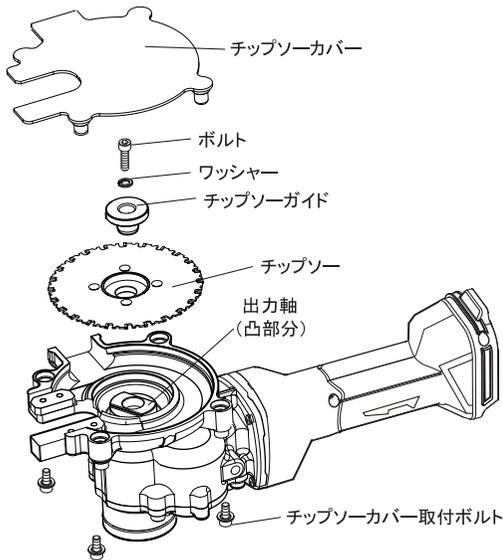
| バッテリー表示ランプ | ■:点灯 □:消灯 ○:点滅 |
|------------|----------------|
| | バッテリーの交換 |

| バッテリー表示ランプ | ■:点灯 □:消灯 ○:点滅 |
|------------|----------------|
| | 本機の異常発熱 |

発熱保護機能

- ・本機が熱くなると、本機は自動停止してバッテリー表示ランプが点灯・点滅します。再始動前に本機を十分に冷ましてください。

チップソーの取り付け・取りはずし方



⚠ 警告

チップソーの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを抜いてください。チップソーが作動して、重大な事故の原因になります。

取りはずし方

1. チップソーカバー取付ボルト（4箇所）を付属の六角棒レンチで緩めて取りはずしてください。
2. チップソーカバーを取りはずしてください。
3. チップソーガイドを取付けているボルトに付属の六角棒レンチを差し込みます。
4. ロックボタンを押しながら、差し込んだ六角棒レンチを回していくとロックボタンがはまる位置があります。この状態でチップソーの回転がロックされます。

⚠ 注意

ロックボタンは確実に押したままの状態で作業を行なってください。ロックボタンの押しこみが浅いと、六角棒レンチが空回りしてけがをする恐れがあります。

5. ロックされた状態で六角棒レンチを反時計方向に回転させて、ボルトとワッシャーを緩めて取りはずしてください。
6. チップソーとチップソーガイドを取りはずしてください。

取り付け方

⚠ 注意

1. チップソーは必ず純正のチップソーをご使用ください。新品、または新品同様の破損や欠けの無いものをご使用ください。
2. チップソー取り付け部やチップソーなどに、切粉やゴミが付着している場合はきれいに取り除いてください。切粉やゴミが付着した状態で取り付けの場合は、作動時にチップソーがぶれて破損の原因になります。

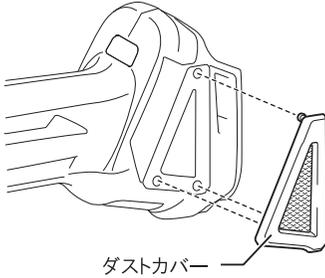
1. チップソーの凹部分を、出力軸の凸部分に合わせて装着してください。
2. チップソーガイドを取り付けてください。
3. ボルトとワッシャーを取り付けてください。
4. ロックボタンを押しながら、付属の六角棒レンチでボルトを締め付けてください。

⚠ 注意

ロックボタンは確実に押したままの状態で作業を行なってください。ロックボタンの押し込みが浅いと六角棒レンチが空回りしてけがをする場合があります。

5. チップソーカバーを取り付けてください。
6. チップソーカバー取付ボルト（4箇所）を取り付け、付属の六角棒レンチで締め付けてください。

保守・点検について



警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

・バッテリーを本機に差し込んだまま行なうと、事故の原因になります。

ダストカバーの清掃

- ・ 使用後は両側のダストカバーをはずし、金網に付着したゴミやほこりを取り除いてください。